

区の評価及び意見(区役所地域担当)

【旭 区】 (受託者:一般財団法人大阪市コミュニティ協会・(株)関西総合研究所)

取組実績の評価(1)

項目		ア 地域への支援実績に対する評価	イ 支援の有効性に対する評価	ウ 課題分析と改善策等に対する評価
事業の実施状況	「Ⅰ 自律的運営に向けた地域活動協議会への取組」にかかる支援の実施状況	防災点検まち歩きや地域活動協議会構成団体長会議の実施を支援することにより、地域課題やニーズの把握につながった。	地域課題やニーズの把握及び共有に有効な支援であった。	ラウンドテーブルの実施など、より一層の地域課題やニーズの把握及び共有を検討されたい。
	「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の実施状況	ホームページの運営支援やかかわり版の作成支援等による地域活動協議会の広報活動を支援することにより、地域住民同士のつながりが拡充された。防災点検まち歩きの実施支援、地域活動協議会構成団体長会議や、小学校土曜授業等への参画により、地域活動協議会を構成する活動主体同士等の連携協働が促進された。市民協働スペース「旭まちづくりサロン」の開設運営により、地域活動団体の活動支援が図られた。	地域活動に関わりの薄かった住民の参加促進、地域住民同士のつながり拡充、地域活動協議会を構成する活動主体同士等の連携協働促進、区内における地域活動活性化に有効な支援であった。	地域活動に関わりの薄かった住民の参加促進につながるよう、より効果的な広報活動を検討されたい。地域活動協議会の構成団体や各部会の横のつながりがより一層強くなるよう検討されたい。市民協働スペース「旭まちづくりサロン」が、地域活動団体のニーズに対応し、より一層の活動支援につながるよう検討されたい。
	「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の実施状況	総会等の開催支援、会計ソフトの提供等による会計担当者への支援、ホームページの運営支援やかかわり版の作成支援により、民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保された。	民主的で開かれた組織運営と会計の透明性の確保に有効な支援であった。	組織運営、会計や広報について、蓄積されたノウハウの共有・継続が地域活動協議会内でより一層図られるよう検討されたい。
	「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の実施状況 <small>(区が「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」において設定したものの)</small>	-	-	-

取組実績の評価(2)

項目		ア 地域への支援実績に対する評価	イ 支援の有効性に対する評価	ウ 課題分析と改善策等に対する評価
事業の実施体制	(1)自由提案による地域支援の実施状況 <small>(企画提案書(事業計画書)等で受託者が提案したもの)</small>	プロボノ活用により地域活動協議会のフェイスブックページが立上げられた。また、市民協働スペース「旭まちづくりサロン」の開設運営が円滑に行われた。	区内における地域活動の活性化に有効な支援であった。	地域活動協議会が立ち上げたフェイスブックページが充実し、地域活動の活性化により一層有効なものとなるよう支援を検討されたい。
	(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制	事業実施体制は、本区の求める水準に達していた。	地域活動協議会の円滑な運営や事業実施に有効な支援であった。	地域活動協議会の円滑な運営や事業実施のための支援がより一層効果的に行われるよう検討されたい。
	(2-2)フォロー(バックアップ)体制等	プロボノ活用やホームページ作成支援について、専門スタッフによるバックアップが行われていた。	地域活動に関わりの薄かった住民の参加促進、地域住民同士のつながり拡大に有効な支援であった。	地域活動協議会の円滑な運営や事業実施のための支援がより一層効果的に行われるよう検討されたい。
	(3)区のマネジメントに対応した取組	連絡調整のため会議を定例的に行い、区との連携が図られていた。	地域活動協議会の円滑な運営や事業実施に有効な支援であった。	地域活動協議会の円滑な運営や事業実施のための支援が効果的に行われるよう、引き続き区との連携を図られたい。

取組効果の評価

項目		ア 取組効果に対する評価	イ 問題点の要因分析に対する評価	ウ 今後の改善策等に対する評価
目標等の達成状況	(1) アンケート調査 ・地域が一体となって運営されている:60%以上 ・適切であると感じている:60%以上 ・自律的な地域運営に取り組んでいる:50%以上	まちづくりセンターの支援が役に立っているとの回答が52.8%、役に立っていないとの回答が31.4%であった。目標である60%には至っていない。 自律的な地域運営に取り組んでいるとの回答は26.8%、取り組んでいないとの回答が45.2%であった。目標である50%には至っていない。	地域活動協議会や自律的な地域運営の意義については、より一層の理解の浸透を図る必要がある。 広報や会計事務についての支援ニーズがあり、当該分野の支援を継続して行うことが必要。	小学校との連携促進や防災をテーマにしたワークショップ開催支援を通じて、区役所と地域をつなぐ中間支援組織としての機能を引き続き十分に発揮されたい。 アンケート結果を踏まえ、ニーズに対応した支援を検討されたい。
	(2-1) 「I 地域課題への取組」達成状況	防災点検まち歩きの実施を支援することにより、地域課題やニーズの把握につながった。	地域課題やニーズをより一層把握し、広く共有するため、ラウンドテーブル等の実施が必要。	ラウンドテーブル等の実施し、より一層の地域課題やニーズの把握及び共有を検討されたい。
	(2-2) 「II つながりの拡充」の達成状況	ホームページの運営支援やかわら版の作成支援等による地域活動協議会の広報活動を支援することにより、地域住民同士のつながりが拡充された。 小中学生によるジュニア防災組織の発足により、つながりが拡充された。 防災点検まち歩きの実施支援、地域活動協議会構成団体長会議や、小学校土曜授業への参画により、地域活動協議会を構成する活動主体同士等の連携協働が促進された。	地域活動に関わりが薄かった住民の参加促進につながるよう、効果的な広報活動の充実が必要。 地域活動協議会の構成団体が、より一層互いに連携協力して事業実施することが必要。	地域活動に関わりが薄かった住民の参加促進につながるよう、より効果的な広報活動を検討されたい。 地域活動協議会の各部会の横のつながりが、より一層強くなるよう検討されたい。 市民協働スペース「旭まちづくりサロン」が、地域活動団体のニーズに対応し、より一層の活動支援につながるよう検討されたい。
	(2-3) 「III 組織運営」の達成状況	総会等の開催支援、会計ソフトの提供等による会計担当者への支援、ホームページの運営支援やかわら版の作成支援により、民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保された。	組織運営、会計や広報について、蓄積されたノウハウが広く共有できるしくみが必要。	組織運営、会計や広報について、蓄積されたノウハウを地域活動協議会でより一層共有できるよう検討されたい。
	(2-4) 「IV 区独自取組」の達成状況	-	-	-
(3) その他の効果のあった内容	特になし	特になし	特になし	

総合評価

総合評価 I	(1) 地域課題等の把握・分析・整理	組織運営、つながりの拡充、地域課題への取組みの各分野について支援を行い、課題分析と支援内容の改善に取り組んでいる。
	(2) 目標(支援策)の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	自律的な地域運営に向けて、地域のビジョンや課題の共有のため、組織運営、つながりの拡充、地域課題への取組みにかかる支援を実施している。
	(3) 区のマネジメントに合った取組	連絡調整のため会議を定例的に行い、区との連携を図り、認識共有し、各地域活動協議会に応じた支援を実施してきた。
↓		
総合評価 II	総合評価(全体)	地域課題やニーズの把握及び共有、地域活動に関わりの薄かった住民の参加促進、地域住民同士のつながり拡充、地域活動協議会を構成する活動主体同士等の連携協働促進、民主的で開かれた組織運営と会計の透明性の確保、区内における地域活動活性化支援が有効に実施されたことを評価する。 今後、自律的な地域運営に向けて、地域のビジョンや課題の共有化をより一層図る支援が必要である。